

11月2日～3日 『第11回アジア物流航運＆空運会議（ALMAC）』オンライン開催



~グローバル・サプライチェーン再構築 キーポイントを探る~

業界注目の三井商船、SKYDRIVE 登壇

香港特別行政区政府（HKSARG）と香港貿易発展局（HKTDC）が共同主催する「第11回アジア物流・海事・空運会議（ALMAC）」は、[11月2日](#)と3日にオンラインで開催します。

本サミット初、ハイブリッド形式にて開催される本年度は「回復力、俊敏性、持続可能性 グローバル・サプライ・チェーンの再構築」と題し、海運、航空貨物、物流、サプライチェーンマネジメント、技術革新を対象とした、年に一度の最重要イベントです。現在の世界経済に影響を与えていたるパンデミックをはじめ、デジタル技術による生活やビジネス上の変革、地政学的要因がどのように世界のサプライチェーンの構築に影響を与えているか等々、チャンスとリスクの両面についての洞察や議論を交わします。

本会議では、製品が消費者に届くまでの一連の流れの中に位置する海運、航空貨物、物流業など、多岐にわたる業界の著名人が一堂に会して市場動向を発信・交換することで、業界のビジネスチャンスの拡大を目指します。それぞれの分野の専門家がローカルな視点から物流の課題や知見を語ります。日本からも著名な方々にご参加いただきます。初日の『海事分科会：持続可能な未来へ』日本からは株式会社商船三井専務執行役員の松坂 順太様、2日目における『InnoTalks：世界を変えるテクノロジー』では日本初発の有人飛行に成功した空飛ぶクルマの開発したことで注目を浴びる株式会社SkyDrive代表取締役CEO福澤 知浩様にご登壇いただきます。国際間での企業交流やビジネスマッチングも実施される本会議は、50カ国以上の国と地域から1万人以上の参加者を見込んでいます。

パワーダイアローグセッションの内容

2日間に亘る会議では、60名以上の業界専門家が講演を行います。初日（[11月2日](#)）のパワーダイアローグセッション（Power Dialogue）では、以下のような議論が行われます。

- ・荷主や業界の大手企業がパンデミック後の時代に適応しているかどうか。
- ・地域のサプライチェーンネットワークが今後どのように進化していくのか。

粵港澳大湾区の開発とスマートエアカーゴの未来

近代的で洗練された航空ハブと、シンプルで迅速な通関手続きなどの要因により、香港の航空貨物輸送部門は世界における主要な貨物輸送の一つに発展しました。昨年、パンデミックが世界の航空貨物活動に深刻な影響を与えたにもかかわらず、世界の貿易ハブ・中国の玄関口として知られる香港を経由する国際貨物輸送は堅調に推移しています。また、広東・香港・澳門大湾区（Greater Bay Area, GBA）の開発を通じて、同地域の航空・物流の将来的な発展に重要な役割を果たすことが期待されています。会議初日の「航空貨物フォーラム（パート1）」では、GBAに焦点を当てたビジネスチャンスを活かす方法を探ります。

航空貨物業界はデジタル化が遅れており、電子商取引、生鮮品、特殊貨物輸送の旺盛な需要に対応するために、効率性をより一層高める必要があるだけでなく、貿易環境の変化や消費者の期待の高まりの中で変化するサプライチェーンにも対応しなければなりません。こうした状況下において航空貨物管理のデジタル化が業界の発展の鍵となっています。「航空貨物フォーラム（パート2）」では、こうしたスマートエアカーゴの未来について考察します。

国際海事センターとしての香港の役割の変化

グローバルな競争が激化する中、香港は高付加価値の海事サービスを提供し続けています。船舶リースや海事保険をはじめ、海事仲裁やトレーニング分野への支援策など、さまざまな施策が導入されています。さらに、「一带一路」構想やグレーター・ベイ・エリアの開発は、海運を含むあらゆる商業分野に大きなチャンスをもたらすと期待されています。今回のインサイト・エクスチエンジ（洞察・知見交換）では、国際的な海事センターとしての香港の将来性について議論が交わされます。

電子商取引から実質排出ゼロ（ネット・ゼロ・エミッション）、注目課題を探る
パンデミック後における「電子商取引（E-commerce）のメガ・トレンド」に焦点を当てます。また、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを世界の多くの政府が表明していることから、持続可能性も重要な課題となっています。実質排出ゼロ課題と持続可能な社会の実現に向け、グローバルなサプライチェーンがいかに重要な役割を果たすかを探ります。

香港貿易発展局「国際物流総合展2021」に出展、セミナーも大盛況

先日東京都江東区にて行われた10

月13～15日開催「国際物流総合展2021」に香港貿易発展局が出展いたしました。弊局ブースには連日、多くの業界の皆様で賑わいました。2日目には本会議のプレビューイベントセミナー「2022年国際航空貨物輸送の展望及び香港の活用法」に、大変多くの皆様にご参加いただきました。